



## 鈴木 文子

(公明党)

【他の質問事項】

□救急情報ネックレス導入



### ■認知症介護家族対策

**Q**国が認知症施策推進5か年計画で示している認知症患者の介護家族などが交流できるカフェの設置について、当市の取り組みを伺う。

**A**現在のところ、認知症カフェは市内にはないが、平成24年度に中央町に開設した、街中ほっとサロンが認知症の方、その家族、また、誰もが集える交流の場となるよう充実を図り、啓発に努めたいと考えている。

### ■育児支援策の

不育症治療費助成

**Q**不妊症の方も不育症の方も、我が子の誕生を強く望んで治療を行っている。負担軽減策として不育症治療費助成を実施してはどうか。

**A**不妊症および不育症については、市民から治療費助成の充実を望む声が多い。少子化対策の一環として、不妊治療費の助成拡充と併せ、不育症治療費に対する助成についても、10月実施を目指し検討していく。

## 松田 吉嗣

(緑水会)



### ■大学との連携による 消防団の増員を

**Q**今年消防団に大学生が入団したが、団員確保のために、大学との連携が必要と考えるが、当市の見解を伺う。

**A**大学生の消防団員への活用は、非常に有効な団員確保対策であるので、市内の大学に勧誘のパンフレットを配布し、協力を要請している。また、入団に際しての金銭的優遇策については、その方策と効果を今後研究していく。

### ■地域コミュニティへの対応

**Q**きずなづくりトークで、地域コミュニティ協議会の設置について説明があったようだが、それはどのようなものか伺う。

**A**地域コミュニティ協議会は、小学校区を1区域とし、さまざまな団体が地域の課題や問題を連携・協力して解決していくことで、きずなが生まれ、お互いが協力し合う仕組みづくりを進めるものである。

## 佐野 淳祥

(改革みしま)



### ■より率先的芸術振興施策を

**Q**年齢に関わらず芸術分野で活躍する市民やその発展を支えてきた功労者は市の宝。芸術分野の市民表彰制度を取り入れたらどうか。

**A**今後、三島市文化振興基本計画を策定する中で、芸術分野はもとより、伝統文化・生活文化なども含め文化振興に尽力をされた方、また、自治会などのコミュニティにおける文化活動に尽力された方も顕彰することを研究していく。

### ■三島市における

今後の認知症ケア

**Q**本市では認知症数を介護保険認定者数でのみ把握しているが、国のオレンジプランでは非認定者も対象である。今後の対応を伺う。

**A**介護認定を受けていない65歳以上の方を対象に基本チェックリストによる調査を行い、生活機能が低下している人を抽出し、運動や脳トレーニングを行う2次予防事業を、また元気な人を対象とした1次予防事業を実施している。



17人の議員が行った主な質問について、寄せられた原稿を掲載します。

## 下山 一美

(日本共産党議員団)



通所介護 (イメージ)

### ■三島市第6期介護保険事業計画

**Q** 法改正により、要支援1・2の訪問介護、通所介護が地域支援事業に移行するが、そのサービスの提供体制について伺う。

**A** 国が事業の円滑な実施を支援することを目的に策定する指針(ガイドライン)を参考にし、昨年度実施した高齢者実態調査結果による市民ニーズを考慮したうえで、予防給付の見直しを行うなど、計画策定に向けて協議していく。

**Q** 特別養護老人ホームへの入所は、要介護3以上に限定されるが、要介護1・2の入所希望者への三島市の対応について伺う。

**A** 法施行時まで提示予定である国の具体的な指針に基づき対応していく。特例的に入所が認められる場合を除き、入所要件から外れる恐れのある待機者に対しては、地域包括支援センターなど、関係機関で連携し、支援をしていく。

## 瀬川 元治

(緑水会)

【他の質問事項】

□子育て理想郷“ふじのくに”の今後の計画は



シルバー人材センターによる植木剪定

### ■高齢者の就業促進

**Q** 高齢者や団塊の世代の就労を促進するため、業務委託を増やすなど、シルバー人材センターをさらに活用してはどうか。

**A** シルバー人材センターの役割は今後ますます高まるものと考えており、現在、運営費補助による財政的支援などを行っているが、今後も市が行う業務の発注を含め、支援に努めていきたい。

### ■増える耕作放棄地対策

**Q** 地域農業を活性化するため、農用地集積などを推進し、企業の農業参入など、農用地を有効利用するための対策について伺う。

**A** 農家相互のマッチングや、静岡県が設置した農地中間管理機構の事業により農地集積・集約化を推進する。また、企業を対象にした就農説明会を開催し、企業の農業参入を促進するなど、農地の有効活用を図っていきたい。

## 金子 正毅

(日本共産党議員団)

【他の質問事項】

□全国学力・学習状況調査の結果公表



### ■集団的自衛権と

三島市の平和行政

**Q** 三島市は平和都市宣言で、戦争への一切の道を拒否すると誓っている。集団的自衛権が行使されたら、平和行政に支障がないか。

**A** 三島市は昭和34年12月に平和都市(核非武装)宣言決議をした自治体であり、平和行政に努めてきた。世界の恒久平和を願うとともに、今までと同様に、平和都市推進事業を進め、市民の平和意識の醸成を図っていく。

### ■消防力の整備指針と

三島市の充足率

**Q** 国の整備指針で市町村が備えるべき消防力の基準が定められているが、指針で求められている消防職員数と充足率について伺う。

**A** 基準では消防車1台につき5人乗車となっており、また、人口規模や危険物施設数などを勘案すると、指針で求められている必要人員は191人となる。三島市の条例定数は120人であるため、充足率は62.8%となっている。